

中高一貫教育準備室だより

平成22年12月6日 第8号

学校説明会での皆様のご質問にお答えします



Q 学習面での公立中学校との違いは何ですか。

- A 各教科において、予習・授業・復習というよい学習のサイクルを身に付けられるように、各教科で授業中に勉強の仕方を教えたり、4月の後半に宿泊合宿を行ったり、学習設計図「シラバス」を活用したりします。
- A 国が示している標準授業時数（週あたり29時間）より2時間増やし、各学年で週31時間授業を行います。具体的には、
- 各学年英語の授業を1時間ずつ増やし、英会話や英文の読み書きの授業を充実させ、語彙数も増やしていきます。そして、6年間かけて、英語を遣い、様々な国の人々とコミュニケーションが図れる国際人を目指せるようにします。
 - 1年生では理科の授業を1時間増やし、実験や観察を数多く行うとともに、大学教授の楽しい授業も定期的に受けられるようにし、理科好きな生徒を育てます。他の教科でも体験学習や問題解決的な学習、探究的な学習を重視し、確かな知性が身に付くようにします。
 - 2年生では数学の授業を1時間増やし、高校の学習内容の一部（不等式や連立不等式、円の性質など）を扱ったり、より発展的な学習をしたりし、数学を得意とする生徒を育てます。他の教科でも6年間の計画的かつ継続的な学習ができるように、中学と高校の学習内容を相互に入れ替えて授業を行います。
 - 3年生では国語の授業を1時間増やし、レポート作成や小論文作成、ディベートなどを行い、全ての教科の基礎となる言語能力とコミュニケーション能力を高めます。また、全ての教科で中高一貫教育を生かすことのできる教科書や副教材を選定します。
- A パソコンやインターネットなど、日本でトップクラスの恵まれた環境の中で、それらを活用した授業を行い、情報処理能力やプレゼンテーション能力が身に付くようにします。

Q 部活動を重視する学校なのですか。勉強を重視する学校なのですか。

- A 勉強と部活動（芸術活動も含む）の両立、つまり文武両道を目指します。6年間の計画的・継続的な教育活動により、確かな知性・豊かな人間性・逞しい心身をバランスよく備え、高い志をもち自ら未来を拓く生徒を育てます。

Q どのくらいのレベルの学校を目指すのですか。

- A どのくらいのレベルになるかは結果としてついてくるものだと思います。本校では、第一に、生徒が楽しく充実した学校生活を送れるように「生徒を支えるサポート体制」を整え、恵まれた環境の中で、熱心で指導力のある教師が生徒とともに授業をはじめ様々な教育活動に夢中になって取り組めるようにします。そして、生徒の個性や能力を最大限引き出し伸ばすこと、楽しく充実した生活をする中で夢や目標に向けて粘り強く努力できる生徒を育てることを重視した教育を行い、一人一人の夢や目標を叶えられるようにします。そのような教育を行うことにより、結果として高い進学実績が得られると確信しております。